

英語英米文学専攻博士前期課程の概要と特色

本専攻は、本学の教育理念を踏まえて、英語英米文学の思想的基盤であるキリスト教思想に通暁しつつ英語英米文学の高度な専門的研究を進めるとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問い、生きることの意義を追究する敏活柔軟な知性の育成を志し、研究職、教育職を初めとして各種の専門職に幅広く適応する人材の養成を目指している。

1. ディプロマ・ポリシー

本課程の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば修士（文学）の学位が授与される。

その際に、次のような能力や資質を身につけていることが求められる。

- (1) 英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーション、実践翻訳並びに関連分野にわたって、高い関心を持ち、広範な知識を身に付けている。
- (2) 論理的な思考力を持ち、専門分野の学問領域に関わる諸問題を深く追究できる。
- (3) 研究対象を分析するための客観的な判断力と健全な批判精神を備えている。
- (4) 英米を中心とした英語圏の文学、言語の諸問題について高い関心を有している。
- (5) 高度な英語力と本課程で修得した専門知識並びに横断的学識を生かして、広く社会に貢献しようとする積極的姿勢を有している。

2. カリキュラム・ポリシー

本課程では、上記の教育目標を達成するために、英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーション、実践翻訳のそれぞれの分野において「特論」と「演習」の科目を配置する。各分野の特論科目においては、研究遂行に必要な高度な英語力を身につけるとともに、論文執筆を見据えての問題設定と研究方法、文献の収集・分析方法を学び、論理構築の力をつけることを目指す。また、演習科目を通して、論理構築の力をさらに鍛えながら、具体的かつきめ細かな論文指導を行う。これらに加え、キリスト教思想等に関する科目を専門関連科目として配置し、高度な専門性と人間存在の意義を追究できる広い視野に立つ編成を旨とする。

3. アドミッション・ポリシー

本課程では、上記の教育目標に共鳴し、英米文学、英語学言語学、国際コミュニケーション、実践翻訳のいずれかを中心にして専門的に研究しながら、国際的視野に立って広く国内外で活躍し、自己の人生を豊かにするとともに、社会に貢献しようという意欲を持つ人を受け入れる。